



会長 遠藤光則
 幹事 猪股育夫
 会報 佐藤敬喜 佐々木 崇
 菅原文之 小竹 秀敏
 只野佳旦 佐藤 静市

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2367回例会 2012. 9. 13 No. 9

本日の出席率

- ・本日の出席率 90.19%
- ・前回確定出席率 86.3%

ニコニコボックス

- ・遠藤光則会長 本日、代打スピーチ伊藤俊郎会員に期待致します。倫理法人会県連会長就任おめでとございます。ロータリー会員増強もお願いいたします。
- ・伊藤俊郎会員 本日のスピーチ担当です。よろしくお願ひ致します。
- ・鈴木彦太会員 伊藤俊郎会員のスピーチ、楽しみにご期待します。
- ・布施孝之会員 伊藤俊郎会員のスピーチを楽しみに。
- ・菅原文之会員 努力家で研究熱心、そして、勉強家の伊藤俊郎会員のスピーチを楽しみにしています。急な変更にも快く受けて戴き感謝しています。
- ・飯塚仁哉会員 若鯨の伊藤俊郎会員には、生きのいい鯨ネタのように暑さを吹っとばす景気のいい話をして下され。
- ・佐藤敬喜会員 本日、遅刻、早退。
- ・猪股育夫幹事以下 伊藤俊郎会員のスピーチに期待。
 村上武彦会員 及川勝永会員 佐々木崇会員
 阿部泰彦会員 千葉吉男会員 氏家良典会員
 菅野幸一郎会員 二階堂學会員 阿部賢悟員
 佐藤静市会員 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員
 佐々木功一会員 小泉洋会員 高橋利光会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 高橋義文会員
 杉田広仁会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 遠藤光則会長

9月も半ば近くになりましたのに暑い日が続いております。平均的に5℃位高い気温が続いているとのこと。会員皆様にはお体にご留意の上お過ごしいただきたいと思ひます。

9月9日(日)、江陽グランドホテルに於て、米山記念奨学会研修セミナーがあり、佐竹孝行委員長と2人で出席して参りました。宮城県地区だけの研修会でした。60名位の多くの参加に驚きました。米山奨学生も14名、中国、韓国、ベトナムの3名が出席されスピーチをされました。特に、中国、韓国の留学生は最近の領土問題でテレビを見るたびに大変つらい思いをしていると話されておりました。ロータリーの奨学金は最高で月14万円で、国の奨学金よりやや少ないのですが、ロータリーにはカウンセラーがいるので何となく安心ということで、以外に人気があるそうです。全国に約1,000名の奨学生がいらっしゃいますが、今年度は財政難のため700名に減らされるということです。

詳しいことは、来月のフォーラムで佐竹孝行委員長より報告があると思ひます。韓国の奨学生は、もう少し日本にいたいと話されておりましたが、菅野多利雄元RI理事から、早く帰って日本と友好のために頑張ってくださいという言葉がありました。

来週、川崎大師RCの例会に7名で出席致します。色々情報交換をしたいと思ひます。例会終了後打ち合わせを致しますので、出席者はお集り願ひます。

幹事報告 猪股育夫幹事

- ・ガバナー事務所より
 会員増強・広報セミナーの案内
 日時 10月6日(土) 11:15~16:10
 場所 グランニュー北上
 登録料 1クラブ 3,000円

- ・若柳RCより 活動計画書が届く
- ・登米市環境市民会議より
 登米市環境市民会議会員による省エネ行動の実践について、エコチェックシート提出の依頼
 提出期限 9月25日(火)
- ・佐沼中央商店会より
 佐沼秋のフリーマーケット出店者募集の案内
 日時 10月21日(日) 9:00~15:30
 ※小雨決行、雨天28日

各委員会報告

- ・復興支援特別委員会 (阿部賢悟委員長)
 9月19日(水)、川崎大師RCの例会に7名で参加してきます。夜間例会ですので、一泊して来ます。

今週のスピーチ

「お茶碗一杯のご飯を美味しく簡単に炊く方法」

伊藤俊郎会員

皆さんはさかづき一杯のご飯を炊くことが出来ますか。少量のご飯を美味しく炊くことはなかなか出来ません。

これは、JAより米の消費拡大について何か考えてほしいと言われたのが、今から20数年前です。竹で炊く方法もありますが、竹を切って準備するのはなかなか難しいところがあり、何か良い方法がないかと考え、空き缶の利用をすることにしました。当時は、ブルタブを取って、そこから米を入れて炊きましたが、炊き上がりが非常に熱くご飯を取り出すことができずでした。そういったことから、フタを切って炊きました。最初は米を入れてそのまま炊いたので、水分が蒸発しておいしいご飯が出来ませんでした。そこでしゃばいしないご飯の炊き方を考えました。

先程も話しましたようにJAより頼まれてやりましたが、盃一杯のご飯を炊くことが出来ますかと言う話をしましたのは、ご飯づくりをするお母さんがおります。食卓を囲んで、釜にご飯がないということを想定

特集



- ライスアドバイザー 伊藤俊郎さん (迫町佐沼「若鯨」)
- ① 空き缶は上ぶたを切り取り、研いだお米はザルに揚げて水切りしておきます。
 - ② お米と同量の水が基本になりますが、水の加減でご飯の固さが選べます。
 - ③ アルミ缶でしっかりとふたをします。
 - ④ 穴の大きさは直径5mmくらいにします。
 - ⑤ 缶に入れるのはお湯が沸騰してから、鍋にはふたをして20~25分火に掛けます。その間はお湯が無くなるよう注意してください。(お湯の量は、缶の5分の1が隠ればOK)
 - ⑥ 鍋から取り出した後、5分くらい蒸らすと層おいしくなります。



お茶碗一杯のご飯を おいしく簡単に炊く方法

してみたいと思います。その時、子供が「かあちゃんもってご飯が食べたい」と言った時、どの位食べたいのと言った時「三口のご飯が食べたい」と言われ、炊いてやる母親が何人いるかということです。母親は、パンを食べなさい等と問題を転嫁します。そこで子供の言うことを聞かないお母さんだと子供はインプットしますので、勉強しなさいと言ってもお母さんが言うことを聞かないうちは勉強しないというふうになってきます。教育というのは、子供の言うことを聞いてやっていくのが習わしではないかと思っております。

幼稚園等に行つてこういったことを指導してくるのですが、子供達はこの状態を見た時にしっかりと絵を描いてお返しを先生が持ってきます。その時、私は「こういうお返しの仕方はだめです」と絵を先生にお返しを致します。何故かと言いますと、親が全然感謝の気持ちを表さないで子供が感謝の気持ちを表わす訳ですから、一度返して片隅に感謝の言葉を入れなさいという言い方をわざとします。子供は文章を書けませんがお母さんたちが感謝の意を表わしたところに本来は絵を描いて持ってくれば、数倍に良い教育になるのではないかと、この辺の気付きを向けております。

先生も、そういったところを感じていただきまして、一たんお母さんに返し、お母さんはそこにちゃんとした文章を綴ってこちらの方に持ってくるよといった状況です。私達は常に教育をする時に、どんな教育をするかということです。

奉仕活動をしておりますが、精薄児の子供さん達が毎年来る訳です。今年で約37~38年続けておりますが、最初の頃は、子供さんの好きな物、嫌いな物を先生を通じてお母さんにアンケートをとります。その時、私は取って嫌いな物を寿司にぎる材料にしており、目の前でにぎりますので、テンションを上げていき嫌いな物を食べる約束をします。そうすると子供達はテンションが上がっていますので食べます。嫌いな物を食べたなら先生が何を食べたかということ連絡帳

に書いてお母さんの方に渡します。母親から嫌いな物を食べさせたというクレームが来ましたので、親に状況を見てもらうことにしました。反応は色々ですが、奉仕活動をするにしても、ワンパターンではなく、様々な工夫をしなければならぬということを勉強させていただきました。今では、全部同じ物でいいですよという位になりました。そして、子供達が店に来て三身一体となって太巻を作る状態を作っております。単なる奉仕活動ではなく、子供達が一歩前進するような気付きの分野で指導させていただいております。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。